

バークシャーの産地別性能調査について

松元計士・*中和田高夫・**山下行哉・永徳正孝・牧角一栄
(鹿児島県畜産試験場・*畜産課・**大口育成牧場)

MATUMOTO, K., NAKAWADA, T., YAMASHITA, Y.
EITOKU, M. and MAKIZUMI, K.
Comparative Performance of the Berkshire Swine
produced in the Different Places.

豚の系統造成試験をおこなう前に、各地から導入した素材豚について、産地別特性を確実に知る必要があるため、昭和47年から48年にかけて試験した。

1. 試験方法

表 1 供試豚および試験区分

区分	基礎豚			腹数	繁殖調査 腹数	発育調査 子豚数	産肉調査 調査豚頭数
	♂	♀	計				
米 国	6	11	17	9	9	71	19
鹿 児 島	5	36	41	29	29	216	74
埼 玉	5	9	14	9	9	56	21

- 1) 試験期間 昭和47年5月9日～48年3月13日
- 2) 飼料および飼料給与量 子豚…マルコA (生後21～35日齢), マルコB (35～63日齢), マルコC (63日齢以降)の不断給与, 調査豚…豚産肉能力検定飼料No. 1 (同腹平均体重30～50kg), 同No. 2 (体重50kg以上)の検定飼料給与基準量, 種豚…ハイブリードAの鹿児島県畜産試験場の給与基準量
- 3) 飼養管理 子豚…餌付け21日齢, 離乳35日齢, 10週齢まで無窓豚舎, 調査豚…デンマーク式豚舎の豚舎に1腹分3頭を収容, 種雌豚…運動場つき豚舎に4頭群飼
- 4) 調査方法 (1)体重測定…子豚 (生時～9週齢), 調査豚 (群の平均体重30kg以降)は7日毎に測定 (2)調査豚は個体の体重が90kg到達時にと殺 (3)ロース断面積の測定は自動面積計を使用した。

2. 結果

表 2 子豚の発育成績

区分	分娩時	3週時	離乳時	9週時
米	1.28±0.25 kg	3.52±1.12 kg	5.51±1.59 kg	12.18±4.74 kg
鹿	1.23±0.23 kg	4.46±1.15 kg	6.84±1.89 kg	13.25±3.79 kg
埼	1.33±0.26 kg	4.28±1.17 kg	6.87±1.92 kg	13.50±3.65 kg

表 3 繁殖成績

区分	分娩頭数	哺乳開始頭数	離乳頭数	育成率
米	8.1±3.79 頭	7.9±3.69 頭	6.1±3.02 頭	76.9±19.20 %
鹿	8.1±2.14 頭	7.4±2.29 頭	6.9±2.26 頭	93.1±14.65 %
埼	7.0±2.55 頭	6.0±2.35 頭	5.4±2.40 頭	90.9±19.67 %

表 4 産肉成績

区分	1日平均 増体重	背脂肪 の厚さ	ロース 断面積	ハムの 割合	背腰長 II	と体の 一般外観
米	599 ±77.2	2.7 ±0.28	20.1 ±3.2	31.2 ±1.2	65.5 ±1.8	80.5 ±1.98
鹿	588 ±53.4	3.3 ±0.34	21.8 ±3.5	29.1 ±1.2	63.5 ±1.9	76.4 ±2.01
埼	602 ±54.1	3.1 ±0.28	21.4 ±3.6	29.9 ±1.3	63.4 ±1.5	78.2 ±2.52

表 5 椎骨数の発現度数

区分	腹数	頭数	20型		21型		22型		平均
			頭数	割合	頭数	割合	頭数	割合	
米	9	21	0	0 %	9	42.9 %	12	57.1 %	21.6
鹿	29	72	14	19.4 %	57	79.2 %	1	1.4 %	20.8
埼	9	16	2	12.5 %	12	75.0 %	2	12.5 %	21.0

3. 要約

- 1) 育成率では鹿児島産, 米国产間に統計的に5%水準で有意差が認められた。
- 2) 背腰長IIでは米国产のものとの間には2cm以上の差があり, 統計的にも1%水準で有意差が認められた。
- 3) 背脂肪の厚さ (平均) では米国产が他の産地に比して最も薄く, 各地間のいずれにも統計的に1%水準で有意差が認められた。
- 4) ハムの割合では各産地間に統計的に1%水準で有意差が認められた。
- 5) と体の一般外観では米国产のものが, 非常にすぐれており, 各産地間のいずれにも統計的に1%水準で有意差が認められた。